

J R 久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の開催結果

開催日	開催回	会議の概要
令和5年5月11日	第1回	・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社（以下、「JR」）から、久留里線の現状と課題について説明があり、利用状況等を踏まえ、今後、久留里・上総亀山間の沿線地域の交通のあり方を検討していくとの方向性について合意した。
令和5年9月6日	第2回	・君津市から、6～7月にかけて開催された住民説明会の結果概要について説明があり、住民説明会の意見等を踏まえ意見交換を行った。
令和5年12月27日	第3回	・10～11月にかけて実施された「住民の移動実態に関するアンケート」の結果について報告し、意見交換を行った。
令和6年7月16日	第4回	・上総地区の今後の地域交通のあり方について、令和6年2月実施の自治会長報告会を踏まえた内容で意見交換を実施していくことで合意した。 ・検討結果を報告書の形でまとめ、次回会議で報告書の原案について議論することになった。
令和6年10月21日	第5回	・事務局から報告書（案）の説明があり、意見交換を行った後、一部追記したうえで最終版とすることが確認された。 ・検討会議としては今回の会議で終了。 ・会議の成果物として、報告書最終版を公表する。

・検討結果報告書における「まとめ（抜粋）」

①検討会議では、JRからの申し入れを受け、沿線地域における現状や課題を共有し、今後の地域交通について検討してきた。

②これまでの検討会議での議論や地域住民のアンケート結果などから、上総地区では、「平日最大15人程度、休日最大20数人程度のまとまった移動需要と、それ以外の散発的な移動需要」があり、当該地区で提供されている交通サービス（鉄道・高速バス・デマンド交通など）は、これらの移動需要に適していないことがわかった。

③当該地区での移動需要を考慮すると、自動車中心の交通体系への移行により、より利便性の高い地域公共交通が実現すると考えられる。

④これらを踏まえ、これまでと同等又はそれ以上の利便性と持続可能性を有する地域公共交通の構築に取り組んでいくべきである。

⑤今後、本報告書を踏まえ、申し入れを行ったJRが、上総地区にとって望ましい交通体系について検討・提示することが求められる。

⑥その上で、最終的に具体化する際には、鉄道・バス・タクシーといった交通事業者を含め、地域の関係者で構成される君津市地域公共交通会議（法定協議会）において、時間帯・エリアごとに最適な運行ルート・交通手段の組合せ・コスト負担を検討し、地域のより良い公共交通のあり方を決定することとなる。